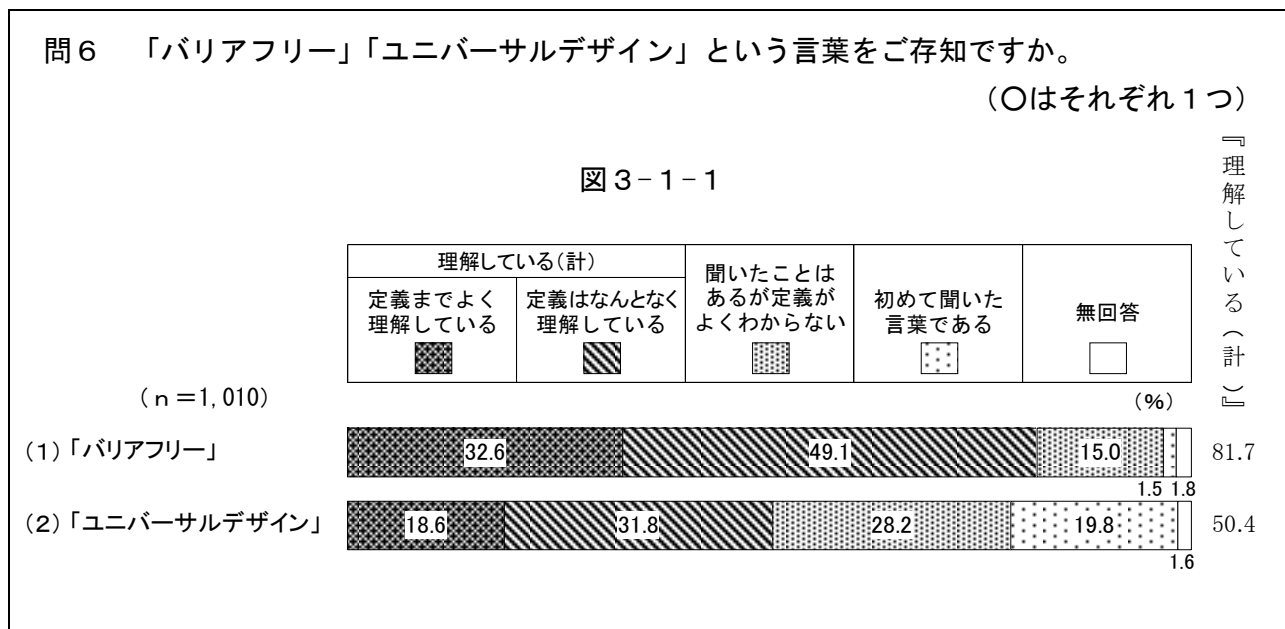


《基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

3. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

(1) 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度

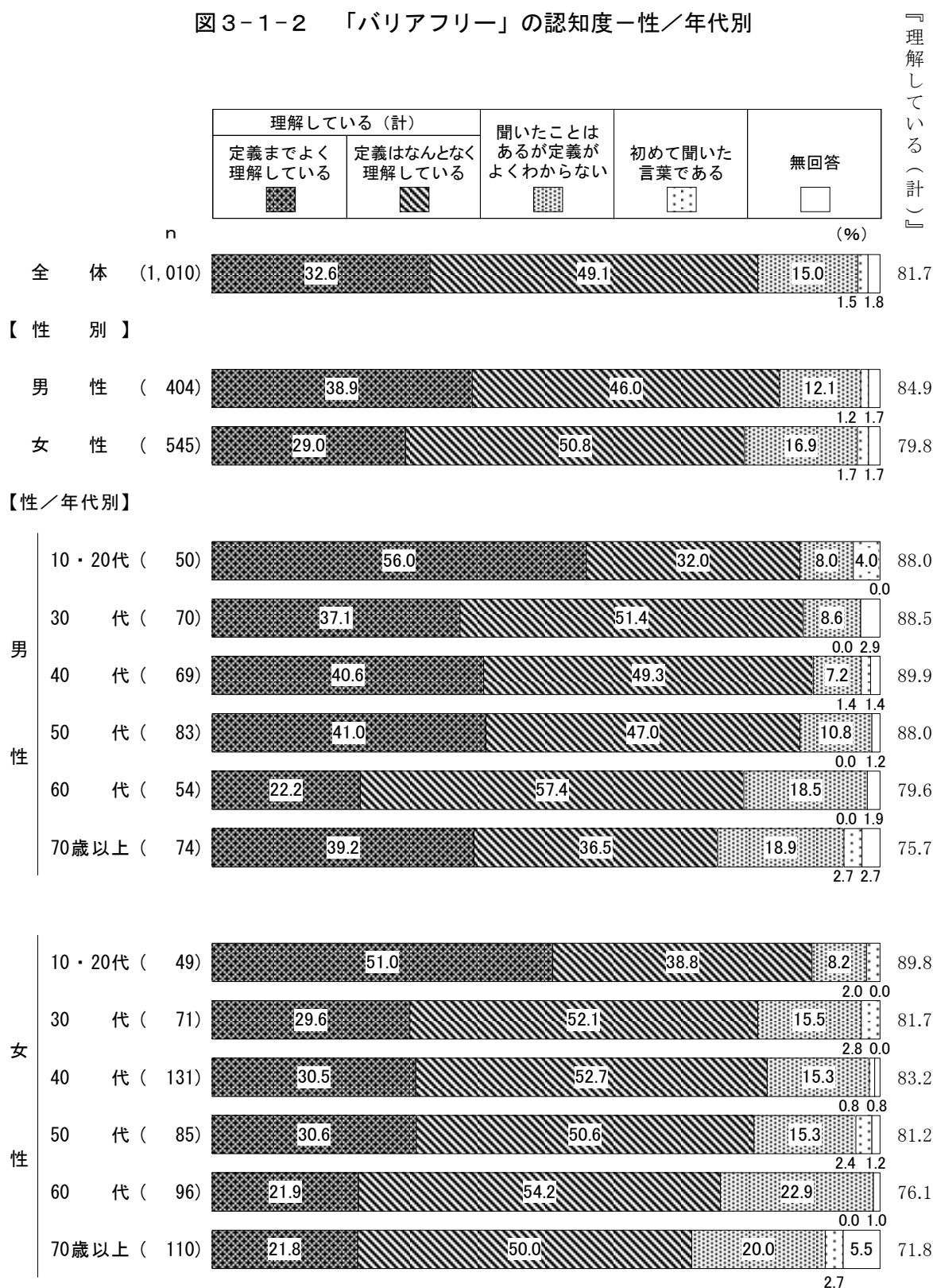
◇「定義までよく理解している」と「定義はなんとなく理解している」を合わせた『理解している(計)』は「バリアフリー」が8割を超え、「ユニバーサルデザイン」が5割



「バリアフリー」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」(49.1%)が約5割で最も高く、これに「定義までよく理解している」(32.6%)を合わせた『理解している(計)』(81.7%)は8割を超えている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」(15.0%)は1割半ばとなっている。

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義までよく理解している」(18.6%)と「定義はなんとなく理解している」(31.8%)を合わせた『理解している(計)』(50.4%)は5割となっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」(28.2%)は3割近くで、「初めて聞いた言葉である」(19.8%)は2割となっている。(図3-1-1)

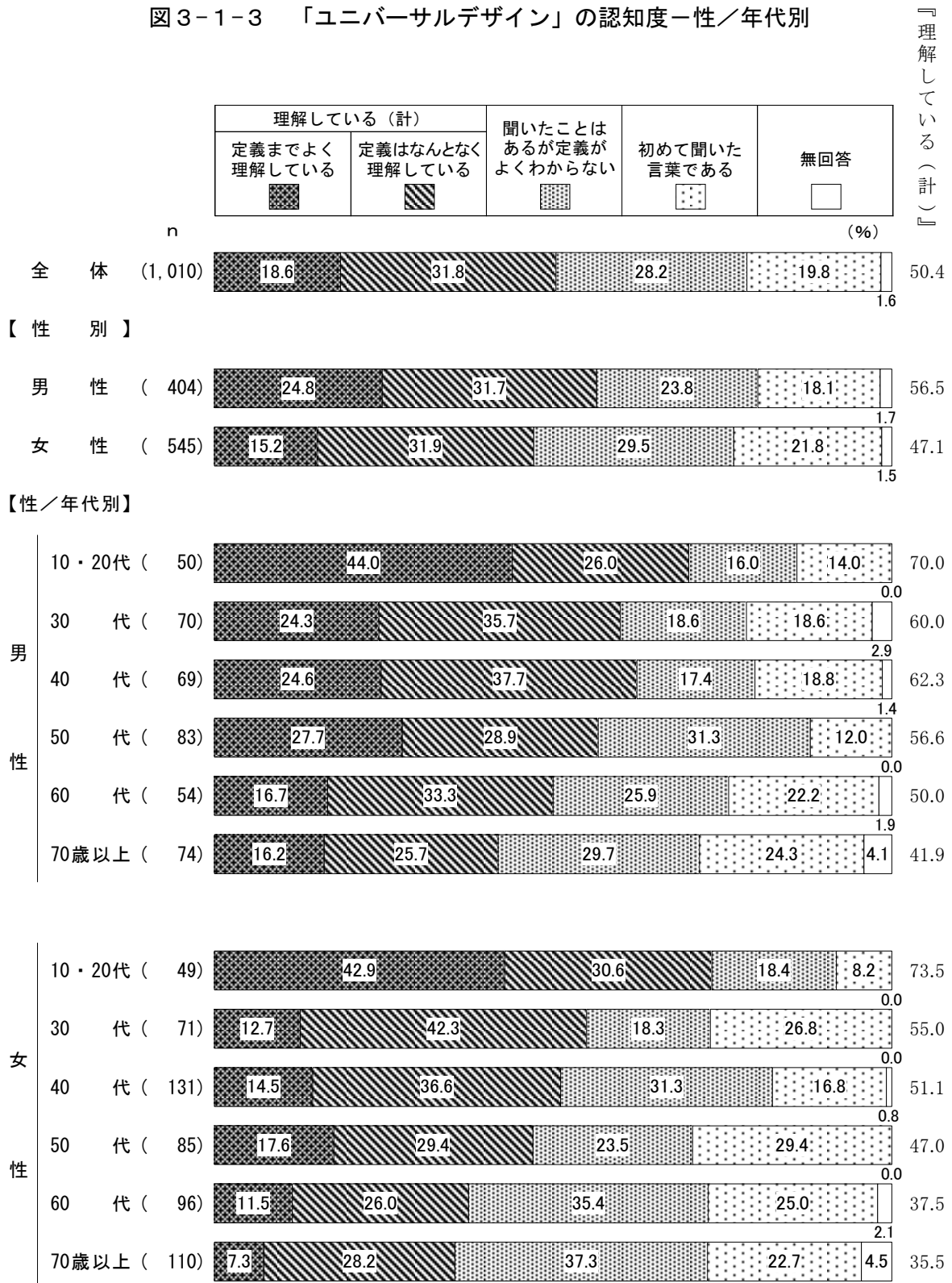
図3-1-2 「バリアフリー」の認知度—性／年代別



「バリアフリー」の認知度を性別で見ると、『理解している (計)』は男性 (84.9%) が女性 (79.8%) より5.1ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『理解している (計)』は男性40代 (89.9%) と女性10・20代 (89.8%) で9割と高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は女性60代 (22.9%) と女性70歳以上 (20.0%) で2割台と高くなっている。(図3-1-2)

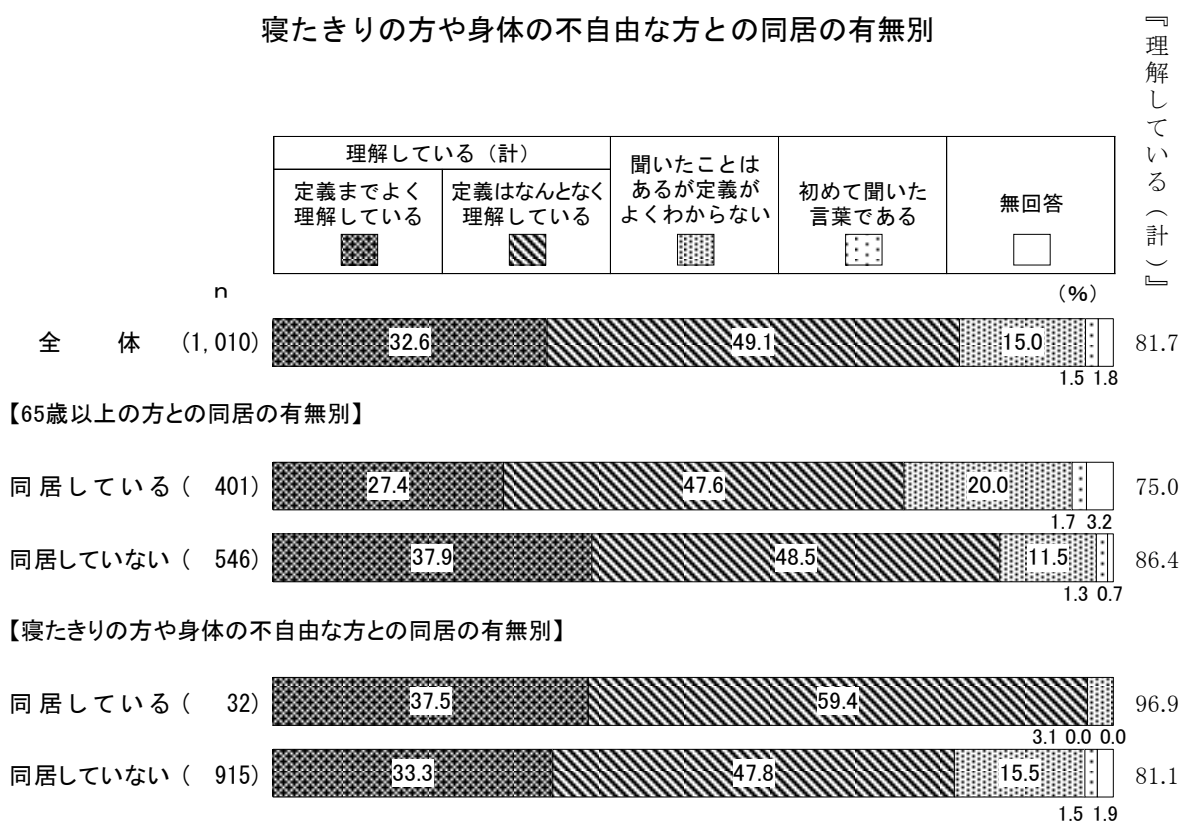
図3-1-3 「ユニバーサルデザイン」の認知度—性／年代別



「ユニバーサルデザイン」の認知度を性別で見ると、『理解している (計)』は男性 (56.5%) が女性 (47.1%) より9.4ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『理解している (計)』は女性10・20代 (73.5%) と男性10・20代 (70.0%) で7割台と高くなっている。「初めて聞いた言葉である」は女性50代 (29.4%) で約3割と高くなっている。(図3-1-3)

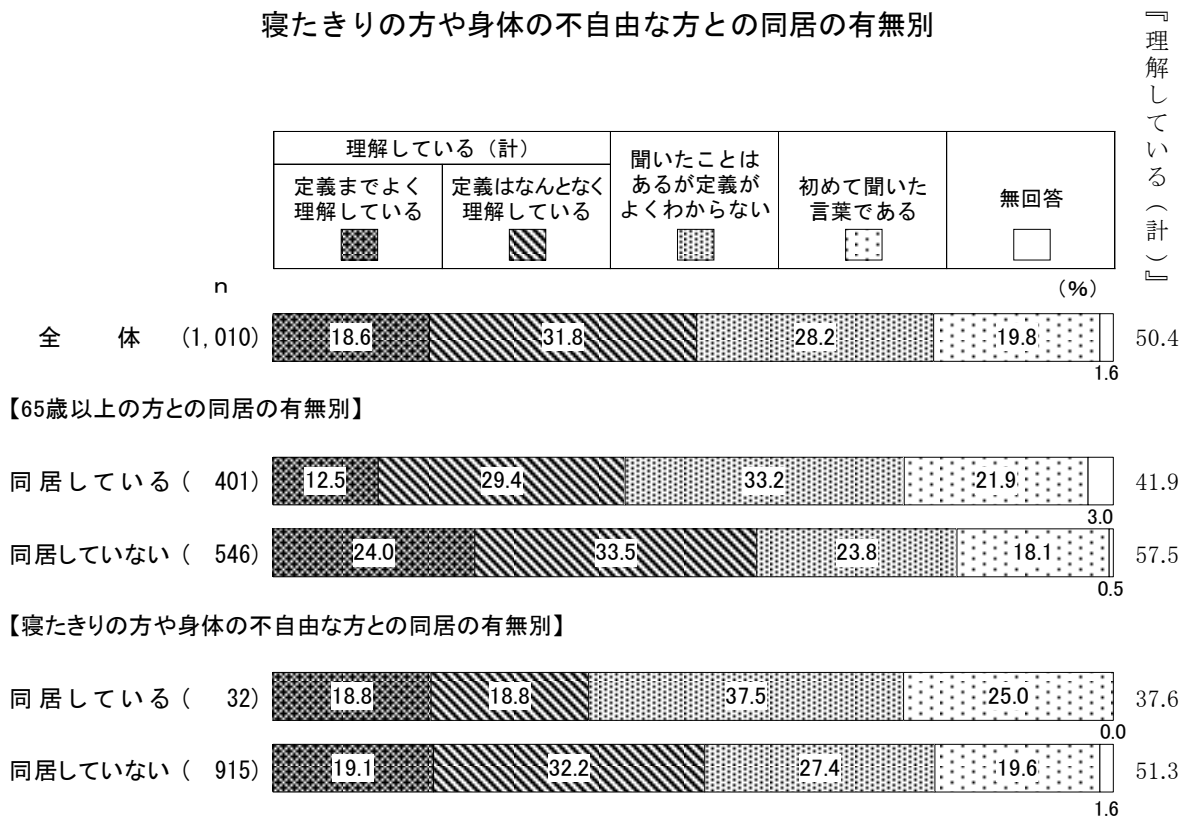
図3-1-4 「バリアフリー」の認知度—65歳以上の方との同居の有無別、  
寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別



「バリアフリー」の認知度を65歳以上の方との同居の有無別でみると、『理解している (計)』は同居していない人 (86.4%) が同居している人 (75.0%) より11.4ポイント高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は同居している人 (20.0%) が同居していない人 (11.5%) より8.5ポイント高くなっている。

寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別でみると、『理解している (計)』は同居している人 (96.9%) が同居していない人 (81.1%) より15.8ポイント高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は同居していない人 (15.5%) が同居している人 (3.1%) より12.4ポイント高くなっている。(図3-1-4)

図3-1-5 「ユニバーサルデザイン」の認知度—65歳以上の方との同居の有無別、  
寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別



「ユニバーサルデザイン」の認知度を65歳以上の方との同居の有無別でみると、『理解している (計)』は同居していない人 (57.5%) が同居している人 (41.9%) より15.6ポイント高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は同居している人 (33.2%) が同居していない人 (23.8%) より9.4ポイント高くなっている。

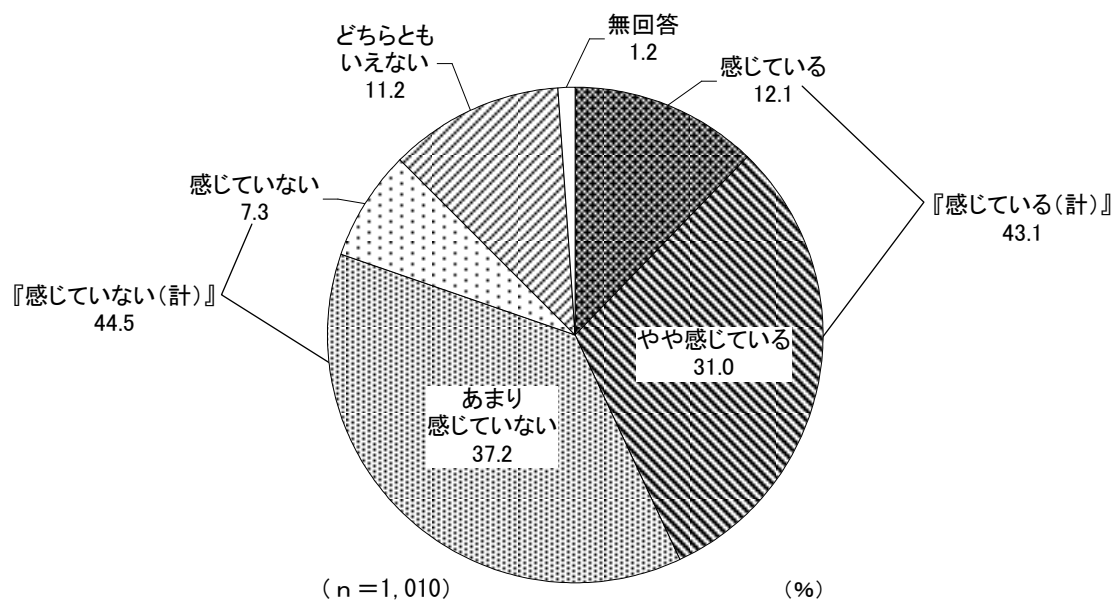
寝たきりの方や身体の不自由な方との同居の有無別でみると、『理解している (計)』は同居していない人 (51.3%) が同居している人 (37.6%) より13.7ポイント高くなっている。「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は同居している人 (37.5%) が同居していない人 (27.4%) より10.1ポイント高くなっている。(図3-1-5)

## (2) 駅周辺のバリアフリー化

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は4割を超える

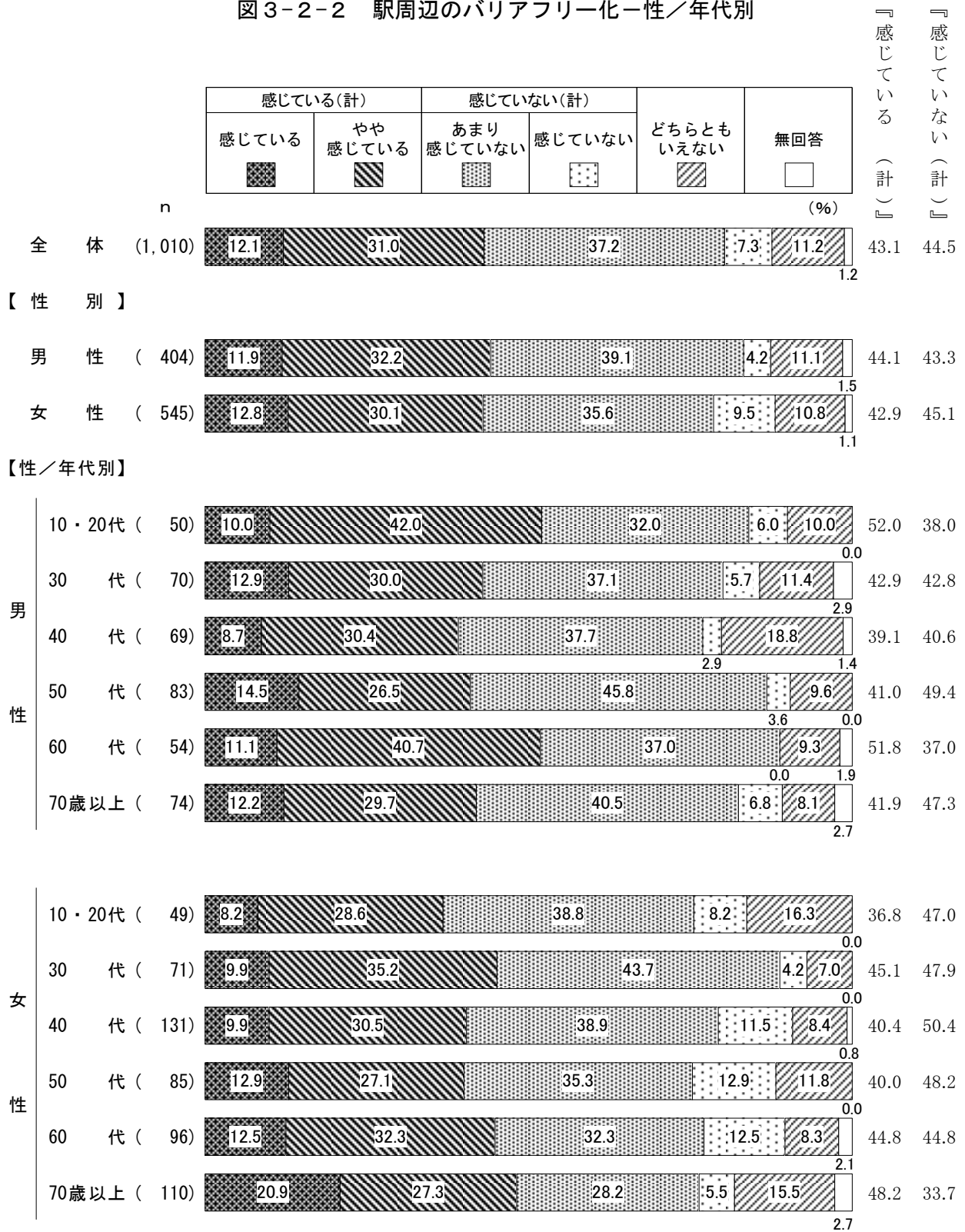
問7 駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じていますか。(○は1つだけ)

図3-2-1



駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じているか聞いたところ、「感じている」(12.1%)と「やや感じている」(31.0%)を合わせた『感じている(計)』(43.1%)は4割を超えている。一方、「あまり感じている」(37.2%)と「感じている」(7.3%)を合わせた『感じている(計)』(44.5%)は4割半ばとなっている。(図3-2-1)

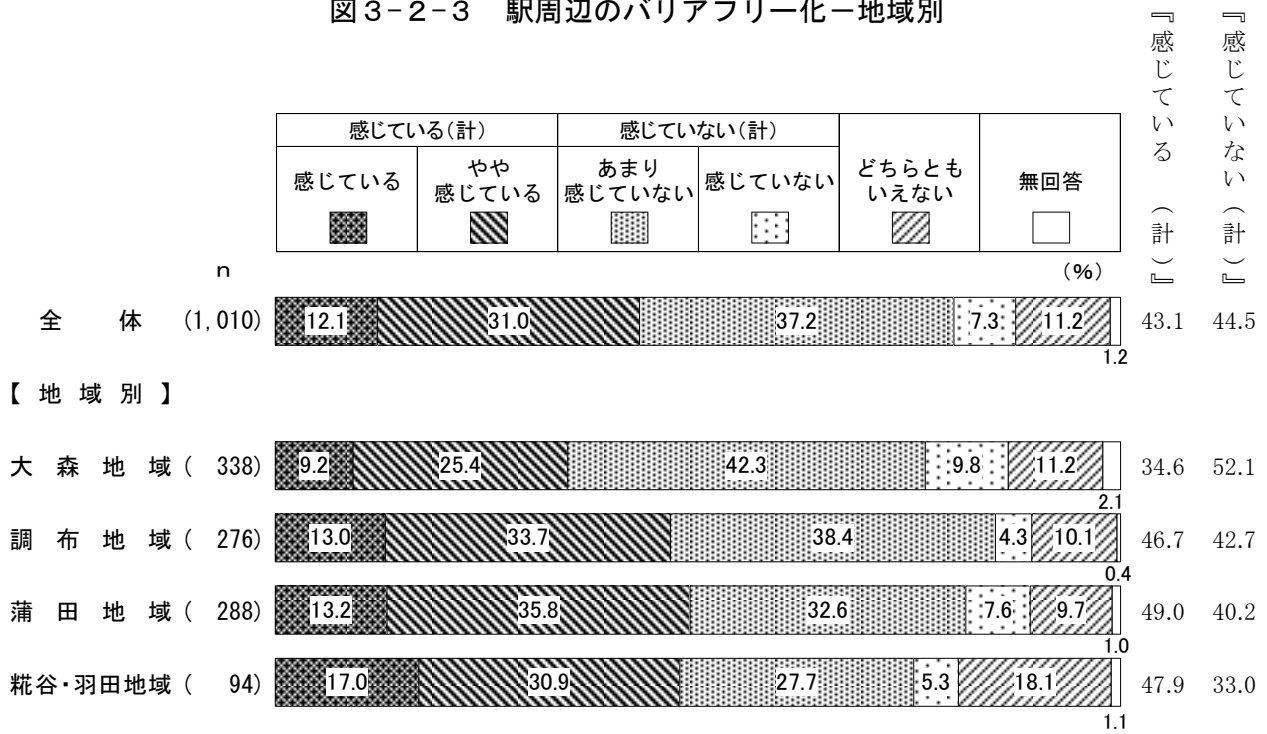
図 3-2-2 駅周辺のバリアフリー化—性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性10・20代(52.0%)と男性60代(51.8%)で5割を超えて高くなっている。一方、『感じていない(計)』は女性40代(50.4%)と男性50代(49.4%)で5割前後と高くなっている。(図3-2-2)

図 3-2-3 駅周辺のバリアフリー化—地域別



地域別で見ると、『感じている(計)』は蒲田地域(49.0%)で約5割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は大森地域(52.1%)で5割を超えて高くなっている。(図3-2-3)